

2020年3月定例議会の議案の説明が行われました

2月25日、2020年度の予算を決める議案の説明が議員に行われました。

**大洲学園・清和園・さくら苑の
民営化が提案されました**

公立の高齢者施設があるから、民間のサービスも守られています。民間にしたらよりよいサービスが提供できるといいますが、民間は利益無くして成り立ちません。市民の命と暮らしを守る仕事が地方自治体にはあります。市民の税金で作上げた施設です。こうした施設を次々に民営化では、公の仕事を投げ捨てることにつながります。

「長浜なぎさの湯」廃止条例が提案されました

長浜の「なぎさの湯」にレジオネラ菌が大量に見つかったから50日あまりして、やっとシャワーだけ使えるようになりました。それから何の対策も説明も無いまま30日が経過して、愛媛新聞に廃止の方針が出されました。市民の方々が災害時にもお世話になった、市民の憩いの場であり、長浜には無くてはならない施設です。今でも13000人が年間利用していると、継続を願う署名を短期間に1100筆近く提出し、二宮市長に会いたいと要望しましたが、一度も会うことなく、廃止条例案を出してきました。

「長浜なぎさの湯を守る会」は、大洲市議会になぎさの湯を守ってほしいと陳情書を提出しています。

議会最終日には、市長の廃止条例案と陳情書の採決が行われます。議会に注目下さい。

3月議会の日程予定です

皆様のご要望、ご意見をお寄せ下さい。

議案提案	3月3日
議員一般質問	9日～11日
常任委員会	12日、13日

三善・八多喜保育所の統廃合で認定子ども園に

大洲市は、水害以降、保育所の統廃合を進めています。身近な地域で子育てできる環境こそ必要です。車の無い方、おじいちゃん・おばあちゃんが歩いてお迎えに行けるなど、地域の中で子育てできる環境を維持することが必要だと思います。子供たちを集めて保育すると安上がりかもしれませんが、その分、保護者の負担になります。地域の合意を得たということですが、子供の減少に拍車がかからないか心配されます。

産休明けの保育のない街大洲市です。この3月、宇和島市でも、八幡浜市でも、子供の医療費が完全無料になります。大洲市は3000円の負担のままです。どこよりも子育てしやすい街と市長はいいますがそうでしょうか。

3月定例議会に出された予算案です

(単位：千円)

- ・ 地域自治組織再編検討会議 1, 263
15名程度で研修視察に行く
 - ・ 松井邸住宅整備事業 6, 106
 - ・ 観光づくり戦略会議の負担金 14, 550
 - ・ 町家活用改修事業費補助金 92, 800
 - ・ 旧加藤家受託工事請負費 監理業務委託料 75, 000
- 1, まちの駅あさもや・おおす赤煉瓦館・駅前観光案内所 31, 839
 - 2, 大洲城・臥龍山荘 2, 400
- 1, 2, は、これらを指定管理者として任されているキタ・マネジメントに支払われます。

住宅用蓄電池など設置費補助金 4, 000

燃料電池システム

@200千円上限、事業費の1/10×10件

蓄電池

@200千円上限、造入金額の1/10×10件